

トラック2（おまけパート・途中で射精してしまったときに聴く用）

（冷たい感じで）

ねえ、私許可してないわよ。

何勝手に射精してるのがしら。

みんなに言いふらしていいってことよね。

ああ、それが目当てだったの？

あなたドMだものね。

クラスみんなに笑われる、屈辱的な日々が送りたかったのね？
(→ここまで)

じゃ、望み通りにしてあげ…、

…何よ、急に叫んで。

やめてって…そんなこと言える立場？
みんなにバレるの、そんなに嫌なの？

はあ…仕方ないわね。

最後のチャンスをあげるわ。

慈悲深いあたしに感謝して、よく聞きなさい。

あなたがぶちまけたきつたない精液、手ですくって、
自分のおまんこに塗り込みなさい。

指突っ込んで、奥まで塗り込むの。
どの道、このままにして帰れないでしよう？

あなたが出したんだから、責任もって、
あなたの体内に収納しなさい。

(心底可笑しそうに)

…あはつ、あははつ。

ほんとに、ほんとに、してる…つ。

おまんこに、自分のザーメン…つ。

ねえ、あなた知ってる?

精液つて、赤ちゃんのもとなのよ?

そんなのおまんこに、あははつ、入れちゃつて…、

妊娠しちゃつてもしらないわよ?

自分の精子と卵子で妊娠とか…、

何? クローンでも作るつもりなの?

変態を増やしてどうするのよ?

あはつ、はははつ…。

(↑、↑、↑まで)

あー、苦しい。

笑わせてくれたことに免じて、

あなたのこととは黙つといてあげるわ。

でもあなたはこれから、私のおもちゃよ。

毎日放課後ここに来なさい。

私を笑わせ続けている間は、みんなに内緒にしといてあげる。

分かった?

どんなみつともない姿を見せたら私が喜ぶか、

毎日考えながら過ごすのよ?

あはつ、あははははつ!